

土砂災害

土砂災害の被害から逃れるために、前兆やポイントを理解しておきましょう。



土砂災害

土砂災害の警戒区域

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがあると認められている土地の区域

※イエローゾーンは、地形で決定(指定)

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

※レッドゾーンは、高さ・斜度・土質等から計算で決定(指定)

土砂災害警戒情報とは

「土砂災害警戒情報」は、大雨警報(土砂災害)の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、町長の避難指示※の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表。

※国全体の防災の基本方針を示す防災基本計画では「土砂災害警戒情報が発表された場合にただちに避難指示(警戒レベル4)等を発令すること」が基本。

土砂災害の種類

● 「土石流危険溪流」

土石流



斜面の土・石・砂が大雨による水とともに、一気に谷を流れ下る現象

● 「急傾斜地崩壊危険箇所」

斜面崩壊(がけ崩れ)



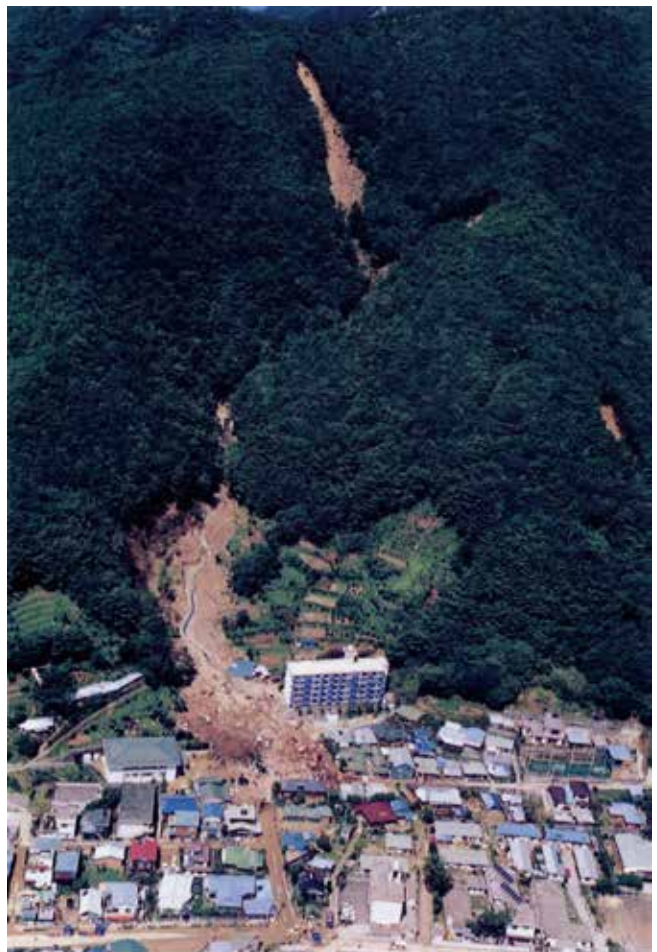
急ながけ地や山の斜面が突然崩れ落ちる現象
国内で最も件数の多い土砂災害

● 「地すべり危険箇所」

地すべり



粘土などの地層の上にある斜面が、ゆっくり動きだす現象

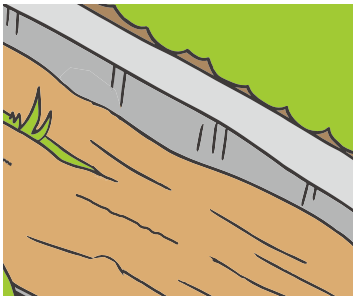


平成2年9月 台風19号にて発生した土石流災害
古仁屋高丘地区(写真提供 鹿児島県土木部砂防課)

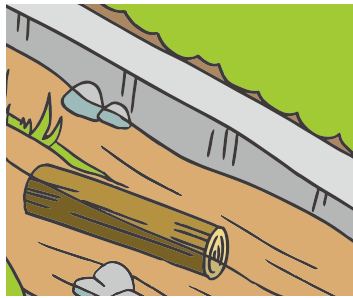
土砂災害の前兆

土砂災害が発生するときには、何らかの前兆現象が現われることがあります。

下記のもの主な前兆現象です。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大切です。



●流水の異常な濁り



●流木が発生
●溪流内の転石の音



●降雨時での水位の激減
●地鳴り・ゴーという音
●土臭いにおい



●湧水量の増加
●表面流発生



●小石がぱらぱら落下
●湧水の濁り
●新たな湧水発生



●小石がぼろぼろ落下
●亀裂の発生、斜面のせり出し
●湧水の停止・噴き出し

土砂災害対策

- 住んでいる場所が **土砂災害警戒区域(イエローゾーン)** **土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)** か確認する。
- 雨が降り出したら「土砂災害警戒情報」に注意する。
- 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域にお住まいの方は、**土砂災害警戒情報(警戒レベル4)**が発表されたら、必ず避難する。
- 気象庁が発表する大雨・土砂災害危険度分布を参考にしましょう。
- 土石流は速度が速いため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



土砂の流れる方向に対して直角に避難！

土石流

土石流は、速度が速いため、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。

土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



がけの高さの2倍以上の距離に避難！

がけ崩れ

がけ崩れは一瞬で起こるため、早期避難の判断が重要です。緊急時には、がけの高さの2倍以上の距離に逃げたり、室内の安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。